

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスぞうさん今宿教室		公表日		令和 8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		指定基準以上のスペースは確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		基準を遵守した配置をしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		活動室と学習室があり、切り替えやすい環境となっている。また、施設内はバリアフリー化されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃と整理整頓で清潔に保たれている。活動に合わせた空間づくりをしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個別の部屋はあり、必要な場合はパーティションを使用し、個別の対応をしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		月ごとに目標を設定し、振り返りを行い業務改善に努めている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者からのご意見は真摯に受けとめ、業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝礼、終礼時に全体での意見交換の場を設け業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	今後、検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	幅広く研修の機会を設けている。受講できなかった職員も研修記録に目を通し、職員の資質の向上に努めている。	法人内での情報共有や意見交換会などを行う機会を検討したい。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		支援プログラムを作成し、HPの公開と共に、保護者に配布している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		定期的に個別で面談を行い、適切にアセスメントを行っている。児童や保護者のニーズに沿った個別支援計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		個別支援計画書原案を元に、原案会議を行い最善の利益に考量し検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画書は全職員が共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントを作成し活用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		利用児童に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		活動内容が固定しないように、月に1度会議をしている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		運動、クッキング、工作、SST、感覚統合遊びなど様々なプログラムを作成し工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		学習、工作など個別活動と遊びや運動など集団活動を適宜組み合わせ計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼で活動目的、内容、役割分担等の確認をし、連携をとって支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼でその日行われた支援の振り返り、気付きを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		利用児童ごとに個別支援計画書に基づいて日々の記録をとり、支援の検証・改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングを行い、継続、見直しをしている。スモールステップで取り組めるよう見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		「4つの基本活動」を組みあわせ、多角的に支援をしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		子どもの自己選択、自己決定を尊重し支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		担当職員と児童発達支援管理責任者で各種会議に出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		学校等の協力が必要な関係機関と連携している。訪問看護との連携を積極的に行っている。	医療、他の障害福祉との連携が難しい。今後体制を整えていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		必要な場合、適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		必用に応じて情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		8		現時点では対象児童がいないが、今後情報共有していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8		機会があれば助言や研修を受けたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		学校のバザーや公園遊び等地域の子どもとの交流の場は設けている。事業所内での活動にきょうだいを招くこともある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		管理者が参加し、情報を共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡帳にて共有している。質問や課題に対しては、面談や電話にて対応している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者会の時にペアレントトレーニングをしている。	参加される保護者とそうではない方がいる為、幅広く参加していただくよう工夫している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者、児童のニーズを聞き取り支援に繋げている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		半年に1回は個別支援計画書の説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		半年に一度の面談と希望時の面談に対応し、助言と支援を行っている。必要な場合、呼び出しをし、面談し助言をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		年2回保護者会を開催し、交流の場を設けている。夏祭りやハロウィンパーティーなど、きょうだい児を招き交流の場を積極的に設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		契約時に苦情相談窓口、苦情解決責任者の説明をしている。苦情があった際には、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		月ごとに児童の様子を写真にてお知らせしたり、SNSで活動の様子や活動予定を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報保護の規定に準じ、取り扱いには十分注意している。SNSは個人が特定されないよう配慮している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必用に応じて個別に対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		学校のバザーに参加している。地域住民を招待することはないが、お買物体験や外食体験等地域と関りが持てるよう努めている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを作成し、研修や訓練をしている。また、訓練後には様子を広報紙でお知らせし、情報共有に努めている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練計画書を作成し、定期的に訓練している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に保護者に確認している。また病院受診後は服薬の変更等、情報共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時にアレルギーの有無は確認している。また、クッキングには十分配慮し、個別の対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、定期的な研修、訓練をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		保護者に安全計画の周知をしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットを作成し、再犯防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待研修を行い、防止に努めている。施設内にはカメラを設置し、適宜確認出来る状態にしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		契約時に説明し、同意を得ている。		